

# 調剤業務で規制緩和の動き 一部自治体が検討進める

薬剤師の調剤業務をめぐる一部の自治体で規制改革に関する要望が出されている。大分県津久見市は、離島のへき地などにいる患者に診療所に常駐する看護師が調剤を行い、医薬品の提供が可能とするよう提案したほか、岩手県矢巾町は小規模薬局の一包化調剤業務を大規模な調剤薬局に業務委託する構想を持つ。こうした規制改革の動きに対し、日本薬剤師会は「調剤業務の効率化だけでなく、薬局業務の高度化、地域医薬品提供体制の充実につながるかどうかの検討が必要」との姿勢を示し、新設したタスクフォースのもと調剤業務のあり方を検討する方向だ。

10月3日にオンラインで開催された日本薬剤師会東北ブロック会議で報告されたもの。津久見市は、地方分権改革への要望として、香川県高松市、高知県、大分県、宮崎市と

離島でオンライン診療を行う場合の調剤制限緩和を共同提案した。

津久見市から船で20分の場所には離島があり、医師が週に3回程度、島に渡り診療を行っている。その島には常駐している薬剤師がおらず、市は看護師が医師や薬剤師の指示のもと調剤を行い、医薬品を提供することが可能になるよう国に規制緩和を求めている。

これに対し厚生労働省は「看護師による調剤は薬剤師法で認められていないため難しい」と回答。「離島などの医薬品提供体制は、地域薬剤師会等の協力により、当該診療所に薬剤師を派遣するなどの対応をまず検討することが重要」との認識を示した。

日薬の磯部総一郎専務理事は、「規制の特例よりも薬局の整備を議論するのが第一」と説明した。現在、大



分県の薬剤師会や病院薬剤師会などと連携し、離島の診療所に薬剤師を常置で派遣することを検討している。

政府のスーパーシティ型構想に名乗りを上げる岩手県矢巾町は、小規模薬局の一包化調剤業務を大規模な薬局に業務委託が可能になるよう規制改革を提案した。

町には岩手医科大学附属病院があり、門前には調剤薬局チェーン、比較的人口が少ない周辺地域に十数軒の薬局が立地している。小規模薬局の薬剤師が対人業務の時間を確保するために、一包化調剤業務を他の薬局に委ねることを想定している。

ただ、矢巾町側から薬剤師会・岩手医大に具体的な話は来ていないという。日薬は調剤業務の外部委託には反対の立場を取っており、岩手県薬から町に働きかけを行っている。

調剤業務のあり方については、今後、厚労省「薬剤師の養成及び資質向上等に関する検討会」で議論が再開される見込み。日薬は「調剤業務のあり方は薬剤師会が考えるべき問題」との認識を示し、タスクフォースを設置した。AIやロボットなど調剤業務の技術のイノベーション、非薬剤師の活用などについて検討していく方針だ。

(2021年10月06日掲載)

薬の効果は、薬理学や病態生理学として理解されているような生物学的要因と、服薬という行為や状況によってもたらされる社会・心理的要因に分けることができます。後者は薬を飲む人の背景や心理的影響、あるいは「広義のプラセボ効果」と言い換えれば分かりやすいかもしれませんが。薬剤師にとって大事なことは、薬の効果に占める両者の割合が、その種類や治療目的によって変わる可能性です。

薬の効果について、2015年に興味深い研究が報告されています(PMID: 26431961)。この研究は、過去に報告されているランダム化比較試験のデータから、19種の薬物治療に関する臨床的な効果の大きさを比較したものです。

解析の結果、2型糖尿病患者の死亡リスクに対するメトホルミン、高血圧患者の心血管疾患リスクに対するACE阻害薬、脂質異常症患者の心血管疾患リスク



医療法人徳仁会中野病院薬局  
青島周一

これから「薬」の話をしてしよう

## 人が人を癒すということ

に対するスタチン系薬剤など、将来的な合併症リスクの低減を目的とした予防的な効果は、臨床的にはかなり小さいことが示されました。

一方で、逆流性食道炎患者の症状緩和に対するプロトンポンプ阻害薬、疼痛緩和に対するオキシコドンとアセトアミノフェン併用、慢性閉塞性肺疾患患者の呼吸機能に対するチオトロピウムなど、主観的な症状の緩和を目的とした対症的な効果は大きいことが示されています。

予防的な効果よりも対症的な効果の方が大きいことは、薬の効果に占めている社会・心理的要因の割合が、予防的な薬物治療で小さく、対症的な薬物治療で大きい可能性を示唆しています。例えば、死亡リスクに対する薬物治療と、疼痛に対する薬物治療、どちらがプラセボ的な

効果の恩恵が強いのだろうかと考えれば、その意味が良く分かります。むしろ、この場合は後者でしょう。プラセボ的な効果だけで死亡リスクが大きく減るとは考えにくいからです。

生物学的要因に基づく薬の効果は、薬剤成分が有する潜在的な薬効であり、不変的かつ絶対的なものです。しかし、社会・心理的要因に基づく薬の効果は、医療者と患者の関係性、あるいは服薬する文脈によって変化する可能性があります。そういう意味では、対症的な薬物治療は、「薬」が「人」を癒すというよりはむしろ、医療者という「人」が「人」を癒すということに他なりません。薬剤師による服薬説明や患者対応は、本質的には社会・心理的要因に基づく薬剤効果の一部なのです。

# AI模試で効率的に苦手を把握し国試に向け徹底対策!

メディセレ式AI模試とは・・・?

- ビッグデータを活用したAI予測から弱点判定されるので、**効率的に**学習を進められる!
- 平均50問、約60分の受験で345問分の結果が分かるから通常2日かかる所が、時間を有効活用できる!
- 個人カルテで優先的に学習すべき項目が分かりやすい!



メディセレグループは全国の薬学生・薬剤師を応援しています。

